

関東農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定地区及び選定者

コミュニティ部門				
No.	所在市町村	地区名		取組の概要
1	群馬県沼田市	群馬県立利根実業高等学校 食品文化部	 <p>部員によるホワイトデーギフトの販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年から、地域のブランド米6種を箱詰めにした「戦国米セット」を企画・販売し、お歳暮や記念品などの贈答用としての需要を喚起。 ・29年からは、ホワイトデーにお米を贈るキャンペーンを展開し、年々、販売数が増加。また、趣旨に賛同する高校も増え、今後の全国展開に期待。
2	埼玉県飯能市	飯能未来フォーラム	 <p>大学生による生産物の輸送支援等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都市からの視察ツアーの実施による移住促進や、高齢農家の生産物輸送支援など、耕作放棄地対策や離農阻止に取り組む。 ・子どもの木育を目的として、地元の木材「西川材」で作ったゴム鉄砲を使ったゲームを考案、「日本輪ゴムdeサッカー協会」を立ち上げ、各地でPR。
3	東京都国立市	特定非営利活動法人くにあち農園の会	 <p>留学生を対象とした農業体験を企画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光需要を取り込むため、大学と連携した留学生ショートステイプログラムなどに取り組む。 また、令和元年からはゲストハウスを運営。 ・新型コロナウイルス後は、国内若者向けマイクロツーリズムにシフトし持続可能な農泊を展開。
ビジネス部門				
4	長野県伊那市	株式会社 Wakka Agri	 <p>地域住民と再生した耕作放棄地での田植</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海外でニーズの高い有機無農薬米に着目、平成29年から残留農薬リスクのない耕作放棄地を再生してお米を生産し海外へ輸出。 また、炊飯環境を持たない海外の消費者向けに、米を原料とした加工品を開発し販売。 ・地元住民との関係強化を目的に、毎年、収穫祭や棚田祭などのイベントを実施。住民理解が進み、農地の管理依頼も増加。
個人部門				
5	山梨県西八代郡市川三郷町	鈴木 美樹	 <p>宿泊者による手すき和紙体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・築180年の古民家を農泊拠点として整備。観光客がいなかった地域を、のべ500名ほどが訪問。 ・宿泊客に、無料で農業体験等を提供。地域の高齢者が講師となり、国内外のお客様との交流を堪能。